

健全な苗と適正な田植作業で初期生育を確保しよう!

移 植

1 田植時期の目安 苗の生育が著しく早い場合は、田植作業を可能な限り早めましょう。

品 種	五百万石・雄山錦	てんこもり・新大正糯 山田錦	コシヒカリ・富富富・てんたかく
基準日	5月5日頃	5月10日頃 (コシヒカリの田植前)	5月15日頃 (中山間地や初期茎数の 取れにくい地域：5月10日頃)

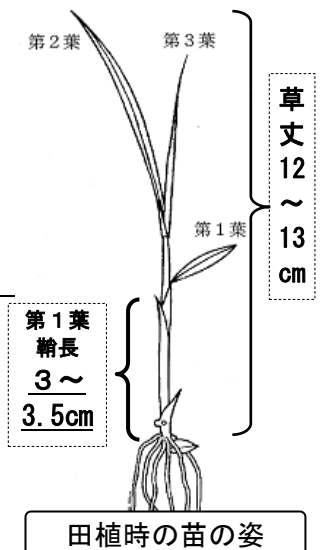
2 育苗後半の管理 ～がっちりした苗に仕上げましょう～

- (1) 硬化期間は徒長を防ぐため、換気を徹底しましょう。
- (2) 田植え7日前から、または、第3葉が出始めたたら、霜や強風の心配がない限り、夜間も換気しましょう。

ハウス内温度 25℃以下

※例年、特別栽培米は草丈がかなり長いので、十分換気しましょう。

- (3) かん水は原則、早朝の1回とし、早朝の気温の低い時に箱の底まで浸透するよう、むらなくかけましょう。ただし、土が乾く場合は必要に応じてかん水しましょう。
- (4) ムレ苗の発生が見られたら、早急にタチガレースM液剤(500倍液で500ml/箱)をかん水しましょう(使用回数：1回)。
※ただし、特別栽培米には使用しない。
- (5) タフブロックを使用した場合は、ダコレート水和剤は使用しない。



3 本田準備

- (1) 除草剤の効果を高めるため、以下の点に注意しましょう。
 - ア 代かきから田植えまでは3～5日を目安にしましょう。
 - イ 耕起、代かきは丁寧に、ほ場を均平に仕上げましょう。

特別栽培米ほ場の
畦畔には除草剤を
絶対に使用しない。

4 苗箱施薬

- (1) 栽培様式および品種により薬剤が異なるため、注意しましょう。
- (2) 育苗後にハウスで野菜等を栽培する場合は、必ずハウス外で散布して下さい。

区分	品 種	薬 剤 名	使用量	使用時期
一般栽培米	コシヒカリ・新大正糯	ルーチンアドスピノ箱粒剤	※ 50g/箱	播種時覆土前 ～移植当日
	五百万石・雄山錦 山田錦・てんこもり てんたかく	ヨーバルプライムE V箱粒剤		
特別栽培米	コシヒカリ・五百万石 (富富富)	フェルテラ箱粒剤		

※高密度(乾籾200～300g播き)に播種する場合は、10a当りの使用箱枚数に応じて、使用量が1kg/10aまでとなるように、育苗箱1箱当りの薬量を50～100gまでの範囲で調整してください。

5 基肥量

- (1) 営農のてびきの基準量を参照し、適切に施用しましょう。(営農のてびきp30～31を参照)
※令和5年からコシヒカリの肥効調節型肥料が変更となり、窒素の分量が多くなっているため、必ず施肥量を少なくしましょう。

(裏面に続く)

(2) 大豆跡や堆きゅう肥を施用した場合は減肥しましょう。(営農のてびき p27～29 を参照)

区分	減肥の目安
大豆跡	3割減肥
堆きゅう肥の施用	基肥基準量から 10kg/10a 減らす

(3) **基準量を確実に施用**できるように、あらかじめ田植機の肥料の落下量を調節しましょう。また、**実際の田植作業時にも計画量が施肥されているか確認し、必要な場合には再度調節**しましょう。

6 田植作業 ～浅植えで初期分けつを確保～

(1) 田植機の設定レバーを事前に調節しておきましょう。また、田植え始めに必ずほ場で設定どおりに植付されているか確認しましょう。

(2) 荒天時を避けて、田植えしましょう。

浅植えの目安は、田植後に
苗の第1葉が見える程度

<田植時の3大ポイント>		品種	五百万石 雄山錦	コシヒカリ、てんこもり 新大正糯、富富富、てんたかく	山田錦
◎植付本数 3～4本/株					
◎植付深度 3cm程度		植付株数 (坪当たり)	80株	70株 (中山間地や初期茎数の取れにくい地域) 80株	60株
◎植付株数		株間	14cm	16cm	18cm

7 田植後の水管理

活着まで (田植後 3～4日)	活着後 (根付いたら)
苗が水没しない程度： やや深水 で活着促進	浅水管理 (2～3cm) ：田水温を高め、生育促進

※ただし、低温や強風が予想される場合は深水にしましょう。

直 播

1 代かき作業

(1) 水は少なめとし、**練りすぎない (特に枕地)**。

(2) 代かきから播種までの日数は、**黒ボク土は2～3日、粘質土4～5日**とする。

2 播種時の土壌硬度 (1mの高さからゴルフボールを落とす)



〔田面が軟らかい場合〕

- ・落水状態をしばらく保つ
- ・額縁排水溝を設置する

〔田面が硬い場合〕

- ・通水する

田面 0cm 以上

種子が埋まらない程度

田面 0～-1cm

種子が5～10mm程度埋まる

3 播種作業 (播種量・施肥量は、営農のてびきの品種別 JA 米生産基準やこよみを参照)

種子、肥料が均等に落下 (ホッパー内が均等に減少) しているか確認しながら作業しましょう。

4 播種直後の水管理 (うまい米づくり情報特別号および営農のてびき p36～37 を参照)

鉄 コ：播種後7日間は湛水管理し、**その後は飽水管理**

カルパー：播種後7日間程度の落水管理 (足が2～3cmしか沈まない程度) 後に入水

お問い合わせは、JA なんと営農部(62-0261)または砺波農林振興センター(32-8147)へ